



昨年12月22日、本庄市手話言語条例が成立。本庄市児玉郡広域聴覚障害者福祉協会等のメンバーが市役所市民ホールに集まり記念撮影を行った。親指・人差し指・小指を立てたポーズは、「I Love You」を表す世界共通のポーズ。

## 埼玉県ろうあ運動の父

### 持田 徹 氏 (1913年～1966年)



本庄市生まれ。埼玉県ろう者協会初代理事長。

ろう者の福祉促進を図るため、啓発運動事業として全国初の巡回映画会を開催。手話通訳者のいなかった時代に、ろう者の就職・縁談の手助けや、行政交渉など、寝食を忘れてろう者のために精力的な活動を行った。「第2回関東地区ろうあ者スキー大会」開催に向け準備に当たっていたところ、国鉄大宮駅のプラットフォームで脳卒中で倒れ、志半ばで53年の生涯を閉じた。



手話が広がり、ろう者も健聴者も当たり前のように手話でやりとりできる日が来るかもしれません。

## 本庄市手話言語条例 (前文)

手話は、音声による言語とは異なり、手指、体の動きや表情により視覚的に表現する言語です。ろう者は、意思や感情を伝えるコミュニケーションの手段として、知識や情報を蓄え、社会生活を営むために手話を大切に育んできました。

しかし、これまで手話を使用しやすい環境が整えられてこなかったことから、ろう者は、意思の疎通や情報の取得などで、不便や不安を感じながら生活をしてきました。

こうした中で、埼玉県のろうあ団体の創立者の一人である、本庄市出身の画家持田徹をはじめとする多くの先人達が手話の地位の確立のために労苦をいとわない活動を続けた結果、障害者基本法において手話は言語であると明記され、手話への理解の広がりや深まりが求められています。

これを受け、手話は言語であるとの認識の下、手話への理解を深め、障害のある人もない人もお互いの人格と個性を尊重して、安心して暮らすことのできる社会を目指して、この条例を制定するものです。

## 特集

# 手話で広がる世界

—本庄市手話言語条例がもたらすもの—

### 手話言語条例の整備が全国で進む

平成23年7月29日に改正障害者基本法案が参議院で可決され、法の中で「全て障害者は、可能な限り、言語（手話を含む。）その他の意思疎通のための手段についての選択の機会が確保されるとともに、情報の取得又は利用のための手段についての選択の機会の拡大が図られること」とされ、初めて「手話が言語である」ことが法的に認められました。

こうした流れを受け、鳥取県が全国の自治体で初めて手話言語条例を制定。2月20日現在、全国で128の自治体、埼玉県内でも、県を含む14の自治体で手話言語条例が制定され、ろう者の住みやすいまちづくりを進めようという機運が高まってきました。

### 4月1日から本庄市手話言語条例が施行

そして、平成29年12月22日、本庄市議会にて、「手話は言語であるとの認識に基づき、意思の疎通が円滑に進められる環境を築く」ことを基本理念に、市の責務と、市民と事業者の役割を定めた本庄市手話言語条例を制定しました。

本市の条例の礎には、本庄市出身で、埼玉県ろう者協会初代理事長の持田徹氏の存在があります。手話言語条例の前文では、ろう者への職業訓練などの障害者福祉に尽力された持田氏をはじめ、先人達のこれまでの努力にも触れています。ろう者の社会進出のために奔走した持田氏の出身地として、また、多くの方々の手話への想いを受け、条例ができあがりました。

### 日本の手話の歴史と課題

日本における手話の歴史は、明治11年に古河太四郎が京都に日本初のろう学校である「京都盲啞院」を設立し、そこで手話による教育を行ったことで始まりました。しかし、その後もなく、明治13年にイタリアのミラノで開催された「ろう教育国際会議」で、相手の口の動きを読み取る「口話法」での教育推進が決議されると、日本でもそれが普及し、昭和8年には、口話法の習得に妨げになるとの考えにより、ろう学校での手話の使用は事実上禁止になりました。その流れは、平成5年、文部省の諮問機関「聴覚障害児のコミュニケーション手段に関する調査研究協力者会議」で、ろう学校での手話の使用を促す報告がされるまで続きました。

しかし口話法は、それぞれの個人の聴力の差によって

習得の程度に個人差が出てしまうことや、大勢が多様な意見を話し合うような会議で口の動きを読むのは難しいという問題があります。手話は音声による言語とは異なり、手指、体の動きや表情により視覚的に表現する言語で、ろう者のコミュニケーション手段として大切に育まれてきました。しかし、ろう者が成長して社会に出ると、周囲の健聴者で手話を使える人は少なく、生活のさまざまな場面で、手話を通じてコミュニケーションが取れる場面はなかなか限られたものとなってしまうのが現状です。

### 用語解説

#### ●ろう者

耳が聞こえない人のうち、手話でコミュニケーションをとって日常生活を送る人のこと。

#### ●健聴者

聴機能に障害のない人のこと。